

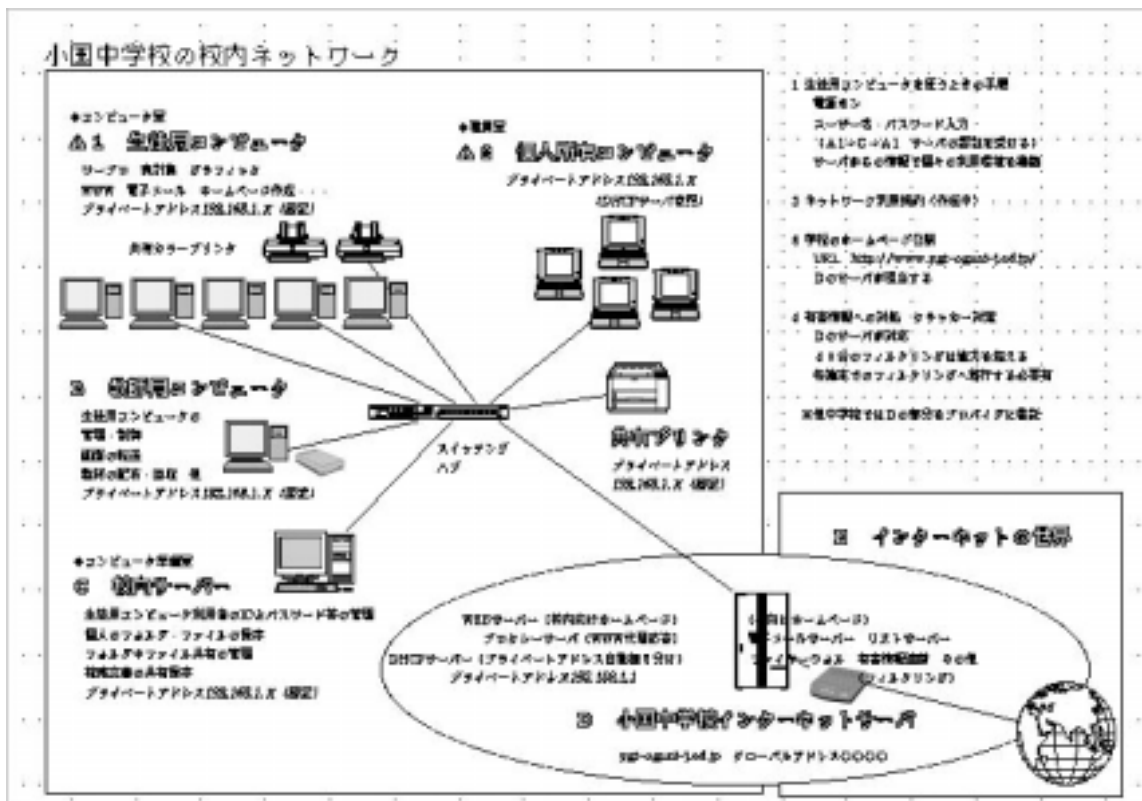
1 小国中学校の情報教育環境整備

平成13年1月、小国中学校では生徒用コンピュータの機種が更新され、同時にインターネットにも接続されました。2～3月はネットワーク設定の調整のための試験運用、今年度に入って職員室内ネットワークの構築と環境設定を進め、今年度から段階的に新しいコンピュータとネットワークの活用を始めています。

国際理解教育、情報教育における小中高連携した新たな必修教科の研究に取り組もうという本校ですので、情報教育の環境整備を行うにあたって何か特徴をと考えました。本校の設備と運用面の特徴を紹介します。

Windows2000 サーバとクライアントでのネットワークを組んでいます。ユーザーの環境設定をサーバから読み込むため、どの端末を使っても、自分のIDとパスワードを打ち込むことによって自分だけの環境設定を呼び出すことができます。総合的な学習や選択教科などで座席が替わっても、自分の作業を続けることができます。(IDとパスワードはネット社会で自分を証明するもの)

サーバに全ての生徒教職員の個人フォルダを設定しており、パスワードで守られています。生徒は3年間自分のフォルダに作品や集めた情報を保存しながら学習を行うことができます。



インターネット専用サーバを校内に設置した常時接続環境をとっています。このサーバの管理メンテナンスは、外部からリモートアクセスによって業者が行ってくれます。自校のドメイン（ygt-oguni-j.ed.jp）を取得しており、内部向けと外部向け WebPage の運用が可能です。電子メールアドレスは自由に必要なだけ発行することができ、現在、全ての教職員と生徒に個々の電子メールアドレスを発行しています。



小国中コンピュータ室

2 教科での活用

まず、コンピュータやインターネットを使っている教師から先になって、各種ソフトやインターネット WebPage 上の情報を授業で活用しようという取り組みを始めました。2 学期には始めて授業でインターネットを活用するという教師の挑戦も始まっています。また各教科の学習プリントの情報源としてもインターネットの WebPage を活用する教師が増えています。

技 術 いろいろなソフトの使い方を説明しているホームページの利用

NHK 教育テレビ番組「インターネット情報局」のホームページの利用 など

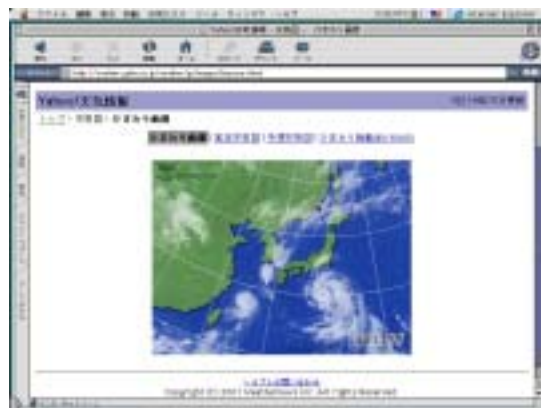
理 科 おもしろ実験例のホームページ 気象情報のホームページ など

社 会 衆議院の過去の議事録を調べ、グループ毎に場面を分担しながら台本を作りロールプレイング

情 報 情報モラルやネチケットに関するホームページ、電子メールの送受信体験 など



NHK インターネット情報局 HP



ひまわり雲画像

3 職員研修を日常的なものにする職員室内ネットワーク

先に述べたように、今年度当初、職員室に引かれた 1 本のネットワークケーブルを分岐させ、全ての教員にネットワークケーブルを延ばしました。自前のコンピュータを接続することで、インターネットの常時接続、パブリックな電子メールアカウントの利用、レーザープリンタの共有、校務文書の共有などが可能になりました。便利なものはだれでも使ってみたくなるもの

で、現在までに、職員室内の全ての教員がこのネットワークに自前のパソコンを接続して活用しています。「これどうするの?」「それは・・・」という会話が飛び交う日常的なコンピュータ研修が行われています。



@ygt-oguni-j.ed.jp の電子メールアドレスを使って、電子メールでの情報交換や各種メールマガジン、メーリングリストの利用も広まっています。分散した小中高校の職員と連絡を取り合うための道具として「小国町中高一貫教育 ML」の試用を行っています。他校の環境整備が進んでくると実用的なものになると思われます。

小国町小中高一貫教育メーリングリスト

メーリングリストを活用して日常的に情報交換をしてみませんか。昨年度、小国町内の全中学校がインターネットに接続され、電子メールの活用も可能になりました。電子メールを活用することで、地理的・時間的に厳しい条件をクリアし、各校教員間の情報交換を日常的に行うことが可能になります。小国町の小中高一貫教育を進めるための道具となるものと期待されます。

メーリングリスト(mailing list service) とは!

グループ内の電子メールサービス。そのメンバーがメールを出すと、グループ全員に配信される。参加者はメーリングリストサーバーに電子メールを送信すると、メーリングサーバーは送られてきたメールをメンバー全員に配信する。[株式会社自由国民社 現代用語の基礎知識 2001 年版より]

4 小国中学校インターネットホームページリンク集の作成と利用

生徒にインターネット WebPage を閲覧させる中で、情報が多すぎて目的の情報を見つけるのに手間がかかる、有害情報や学習に関係ない情報に遭遇することがあるなどの問題点を実感するようになりました。そこで小国中独自の学習内容に合わせたリンク集を作成し、ブラウザ (WebPage 閲覧ソフト) の起動と同時に表示されるように設定しました。内容は子供向け検索エンジン、各教科等資料、本校生徒の作品、県内小中高のHPへのリンク集で、ネット上での道案内と有害情報に近づかないためのガードレールの役割を果たしています。



